2018年3月6日（火）
福井新聞

消費者視点の経営「活動章」

勝山サンプラザ 輝く

子ども、高齢者支援評価

ショッピングセンター（SC）を運営する協同組合勝山（勝山市）サンプラザが、消費者視点の経営に取り組む全国の企業や団体を表彰する「消費者志向活動章」に輝いた。地元団体、行政と連携し、子どもたちや高齢者らの生活を支援する活動などが評価された。同章はこれまで、大手企業が選ばれることがほとんどで、中小企業組合・共同店舗が表彰されたのは初めて。

同表彰は、企業や団体の消費者に関わる部門の責任者らで組織する消費者関連専門家会議（ACAP）が2015年に創設。消費者との信頼関係向上に向けた活動などを審査し、表彰している。今回は県中小企業団体中央会が同組合を推薦。全国から13件の応募があり、4社1団体が表彰された。

同SCは1977年7月に開業し、テナントは23店舗。スポーツ少年団や子ども会の活動資金助成や、足腰の負担を軽減する特殊な買い物カートで買い物を通じた高齢者のリハビリ支援など、地域に根差した活動を展開している。後継者がいることが同組合の加入要件となっており、小規模事業者の事業承継の面でも高く評価された。

同組合の川原勝理事長は「地方の協同組合の活動が評価されてうれしい。今後もさまざまな取り組みを通じ、地域のコミュニティーとしての役割を果たしていきたい」と話している。（吉川良治）